

にじいろのイメージ「夢・希望・幸運」「人や世界の多様性」から、互いを大切に豊かにコミュニケーションし合い、生き生きと過ごすことができるようにという願いを込めたタイトルです。

札幌市立元町小学校 きこえの教室

にじいろ

令和6年度4・5月号

令和6年4月12日

草花の芽が地面から顔を出し、元気いっぱい春の訪れを知らせてくれています。新年度が始まり、子どもたちは新しい担任の先生や新しいクラスメートと、ドキドキしながら毎日を過ごしていることでしょう。周りの人の話し方に慣れるまでは、聞き取る時にいつもより気を張っているのも、疲れることもあるかもしれません。

今年度もきこえの教室では、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにサポートをしていきたいと思えます。また、何気ないことでも話しやすい雰囲気づくりを大事にしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



月	火	水	木	金
8 着任式 始業式 入学式	9	10	11	12 通級保護者説明会 ・交流会
15 指導開始日	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29 昭和の日	30			



月	火	水	木	金
		1	2	3 憲法記念日
6 振替休日	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29	30	31

担任の先生方へ



こんにちは、きこえの教室です。先生の学級できこえの教室に通級する子どもがお世話になります。情報交流を行い、子どもが安心して過ごせるようにしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめにきこえの教室の卒業生の声をご紹介します。もう中学校を卒業して、高校生や社会人になっている卒業生が、学校生活で実は困っていた・・・と話してくれたことです。

- ・授業中、先生が黒板の方を向くと聞こえにくい。
- ・体育館やグラウンドは広すぎたり響いたりして聞き取りにくい。
- ・周りがガヤガヤしている時の先生の話は聞こえにくくて困る。
- ・地下鉄での会話ができない。ゴーという音がうるさい。
- ・道を歩く時、聞こえない方に立たれると会話しにくい。毎回言うのも嫌だ。
- ・自己紹介で(耳のことを)言うのがこわかった。
- ・サイレンがどこからきこえているのか、音の方向が分からない。
- ・歌で、音程とかよく分からない。音楽のテスト、歌を歌う事が辛かった。
- ・リスニング(CD 音源)が聞き取りにくい。
- ・友達が大切。← 困っていることをわかって助けてくれる。
たくさんではなくても1人でも2人でもそういう友達がいるといい。

聞こえにくいことで
困ることがあります

※ 裏面もご覧ください

○ そこで…学級での配慮についてお伝えしたいと思います

★こんな配慮があると助かります

聞こえにくさのある子どもたちは、先生の話をも十分に聞きとれず、緊張や不安を感じながら教室で過ごしています。一見聞こえにくさを感じさせないような軽い難聴や片耳難聴の子どもでも、状況によっては話を聞きとるのが難しいのです。その不安を軽減できるようなポイントをいくつか挙げてみます。

☆ 座席は……

子どもたちの中には、先生の口の動きを見ながら話を聞いている子が多くいます。今、誰が話しているのかを確認するだけでなく、口の動きからことばを類推して聞いているのです。先生の話が聞きとれなかった時、子どもたちは周りの子や先生の動きを見て、何をしたらいいのか判断します。座席は、「先生の声が聞きとりやすい」「先生の顔や動きが見えやすい」「周りの子どもの様子が見えやすい」ということを考慮して決めていただけるとありがたいです。特に片耳難聴や補聴器を片方だけにつけている子どもは、座席の位置によって聞こえ方が大きく変わりますので、配慮をお願いします。

☆ 話をする時は……

聞こえにくさのある子どもたちは、相手の話を聞きとろうと、聴覚を話し手に集中しています。それでも、話の一部しかわからなかったり、聞き間違ったりすることがたくさんあるのです。話す人がマスクを着用すると、口の動きが見えずこもった声になります。話し手との距離が離れれば音が小さくなりますし、開けた窓からの音、換気扇や扇風機の音などのちょっとした状況の変化で聞きとれたり聞きとれなかったりすることもあります。

子どもと話すときには、目を合わせてから話しかけてください。少し大きめ、少しゆっくり、自然なイントネーションで話すと、わかりやすくなります。大きすぎる声や一音一音区切った話し方は、不自然でわかりにくいようです。文字や身振りなど目で見てわかるもので補ってあげることも、理解の一助になります。子どもが、わからないなという表情をした時には、近寄ってもう一度繰り返す、紙に書いてみせながら話してもらえると助かります。



☆ 新しいことは特に配慮を

子どもたちは部分的に聞こえてきたことばを経験や知識で補ってつなげながら、話を聞いています。新しいことばや新しい活動、突然の予定変更など、予測のつきにくい状況ではとても不安になり、ますます聞くことが困難になります。子どもが困っていたり不安そうにしたりしていたら、個別に声をかけて伝えてあげてください。板書や実物投影機などの活用も効果があります。

☆ 字幕の活用を

音声の聞き取りにくい映像を見る時は、字幕の活用が大変有効です。Eテレなどを見る場合は、テレビの字幕表示の設定をお願いします。

また、4年生、6年生が見学に行く青少年科学館のプラネタリウムでは、字幕上映の用意があります。見学に行く場合は、事前に天文係にその旨お伝えいただき、字幕をご利用下さい。

